

DIGITAL AUTO

Remote Control Radio System

RX20 series

受信機結線マニュアル

ML0098-0

使用前に必ずお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

製品の取り扱いについて（必ずお読みください）

警告

死亡または重症を負うおそれがある内容

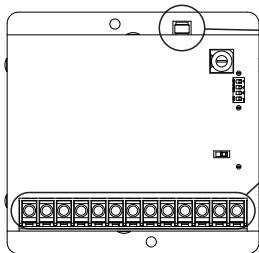
- 本取扱説明書に記載のない条件や環境での使用、及び原子力制御・鉄道・航空設備・車両・燃料装置・医療機器・娯楽機械・安全装置その他、人命や財産に大きな影響が予測されるなど特に安全性が要求される用途へは使用しないでください。
- 周囲環境により、通信が一時的に途絶えることがありますので、リアルタイム制御及び人命やその他の機器・装置に損害を与える用途には使用しないでください。
- 落下させる・物をぶつける・傷つけるなどはしないでください。故障の原因となります。
- 分解・改造はしないでください。故障の原因となります。
- 製品を濡らさないでください。発熱や故障の原因となります。
- 煙が出る・異臭がする・異音がする・発熱するなどの異常が発生した場合すぐに使用をやめ、購入先にご連絡ください。
- 配線はブレーカーを切った状態で行ってください。事故の原因となります。
- 配線は正しく行ってください。誤動作や事故の原因となります。

注意

傷害または物的損害が発生するおそれがある内容

- 次の場所への設置はおやめください。故障や事故の原因となるおそれがあります。
 - ・ほこりの多いところや直接水のかかる場所
 - ・高温多湿のため結露しやすいところ
 - ・腐食性ガスや可燃性ガスが発生する場所
- アンテナは専用のアンテナをご利用ください。
- アンテナは金属物等（鉄筋・電柱等）からできる限り離してください。障害物がある場合動作距離が短くなる場合があります。
- 受信機を制御盤などの金属箱内に設置する場合は延長ケーブルを使用し、アンテナを金属箱の外に設置してください。
- 電源電圧は許容範囲内で使用してください。
- 本機を廃棄する時は、産業廃棄物として処理してください。

受信機各部名称



アンテナコネクタ

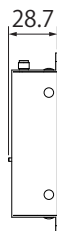
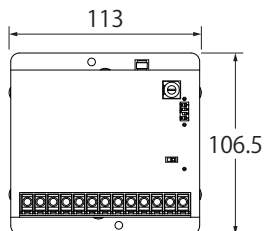
- ・アンテナ取付用のコネクタです

端子台

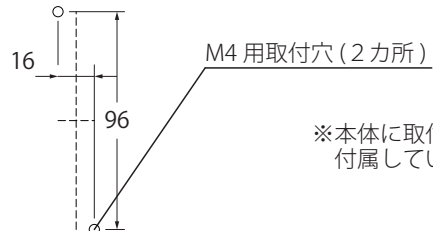
- ・電源線及び出力線を結線します
- ・詳細は「結線図」をご覧ください

外形寸法・取付寸法

外形寸法



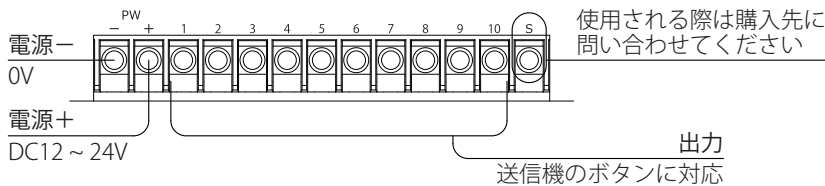
取付寸法



※本体に取付ネジは付属していません

結線図

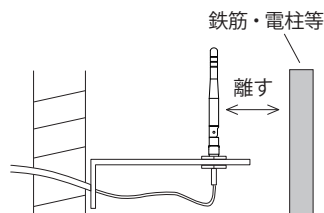
※電源端子に結線すると、常に通電している状態になります。
作業をされる方は、十分に注意してください。



※本製品の出力は、NPN オープンコレクタです。「電源-」端子が共通端子になります。

延長ケーブル (別売) の取付について

- アンテナは操作される位置から見通しがよく、地面より 1.5m以上の高さに取り付けてください。
- 壁を貫通させてアンテナケーブルを屋外に引き出す場合、ケーブル保護のためパイプを使用してください。
- アンテナは、組み込みネジでアンテナ金具にしっかりと固定してください。
- 受信機からのアンテナケーブルは無理に引っ張らないようにしてください。
- アンテナケーブルは途中で切断したり余分なケーブルを束ねたりしないでください。
- アンテナケーブルは電源線・高圧線・インバーター・DCモーターなどのノイズ源からできる限り離してください。
- アンテナ及びアンテナケーブルは弊社指定品を使用してください。



主な仕様

- 出力仕様 オープンコレクタ出力
- 定格負荷 DC30V 100mA
- 電源電圧 DC12~24V
- 消費電流 100mA 以下
- 動作温度範囲 -10~+60°C
- 動作湿度範囲 30~80%(結露・氷結なきこと)
- 登録可能台数 250台

※250台を超えると登録できなくなります

故障かな?と思ったら

動作しにくくなった・動作しなくなったと感じたら、下記内容を確認してください。

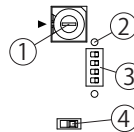
- 送受信機の電源は入っていますか?
- 正しく配線されていますか?
- 近距離で正常に動作しますか?
- アンテナの設置場所に問題ありませんか?
- アンテナとケーブルの締め付けが緩くなっていますか?
- アンテナケーブルが断線またはかみ込んでいませんか?
- 周囲にモーターなどのノイズ源がありませんか?
- 別の送信機で正常に動作しますか?

周辺ノイズの確認方法

※無線通信は、周辺の環境により電波が到達しにくい場合があります。左記項目を確認後改善されなければ、本操作で周辺ノイズを確認し購入先にご相談ください。

操作部名称

- ① 設定スイッチ
- ② 検知 LED
- ③ モードスイッチ
- ④ 電源スイッチ



確認方法

- ① 電源を切ってください。
- ② モードスイッチを右図のように移動させ、電源を入れてください。
- ③ 設定スイッチの「0」を右図のように ▶ にあわせてください。
- ④ 設定スイッチを「0」→「1」→「2」と順にゆっくりと回してください。



なんらかの電波を検知すると、検知 LED が点灯します。検知 LED が点灯した数字・文字を確認のうえ、購入先にご連絡ください。

使用前に必ずお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

受信機各部名称

① 設定スイッチ

- ・ ID 登録グループの設定及び動作範囲の設定をします
- ・ 詳細は「ID コードの登録と削除」「動作範囲の設定」をご覧ください

② 検知 LED (緑)

- ・ 動作範囲の設定に使用します
- ・ 詳細は「動作範囲の設定」をご覧ください

③ モードスイッチ

- ・ 受信機の動作モードを切り替えます
- ・ 詳細は「ID コードの登録」「ID コードの削除」「モードの設定」をご覧ください

④ 動作 LED (赤)

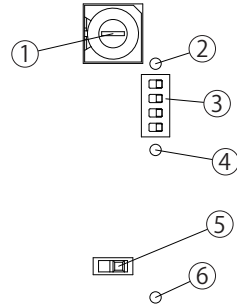
- ・ 受信機の動作状態を表示します
- ・ 電源スイッチが「ON」のときに点灯し、電波を受信したときに消灯します

⑤ 電源スイッチ

- ・ 「ON」にすると、電源が入ります
- ・ 設定をリセットするときに使用します
- ・ 詳細は「ID コードの登録」「ID コードの削除」「モードの設定」をご覧ください

⑥ 電源 LED

- ・ 受信機に電源が入ると点灯し、運用状態になります



ID コードの登録

※送信機の ID コードを受信機に登録すると受信機は登録した送信機で操作が可能になります。手順に従い送信機の ID コードを登録したうえで使用してください。

※登録操作時は、登録作業以外の操作や他の送信機の操作ボタンを押さないでください。

※登録操作時は、必ず受信機にアンテナを取付けた状態で 3m 以内で送信機を操作してください。

※本操作で登録できない送信機もあります。機種については購入先にお問い合わせください。

※本操作は必ず登録しようとする受信機・送信機で行ってください。

※登録済の送信機を再度登録することができます。その際は ID グループが現在あわせられているグループに変更されます。(ID の多重登録にはなりません)

① 電源が切れているか確認してください。

※電源が入っている場合は、電源を切ってください。

② モードスイッチを図のように移動させてください。



③ 設定スイッチで登録したい ID グループ (0~F) を ▶ にあわせてください。

※右図では、グループ F に登録されます。



④ 電源を入れてください。

⑤ 受信機が登録モードに入ります。登録モードの間、動作 LED が速く点滅し受信機のプロザーが「ピーッピーッ」と約 1 秒間隔で鳴ります。

※以降の作業は 90 秒以内に行ってください。

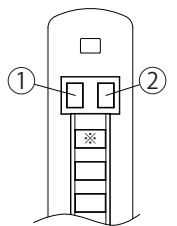
⑥ 送信機で次の操作をしてください。

送信機の 1 番ボタンを押しながら電源を入れて (または ☼ マークを押して) ください。

※電源ボタンが押しボタンタイプの送信機は、先に電源ボタンから手を離してください。

送信機が TX13 の場合

- (1) 送信機の「※」ボタンを押しながら電源を入れてください。
- (2) 送信機の①と②のボタンを使いユーザー様で決めたチャンネル番号と液晶の数字を合わせてください。
- (3) 再度「※」ボタンを押してください。



※上記方法で登録できない製品もあります。送信機取扱説明書に「登録電波の送信方法」があれば、そちらをご覧ください。

⑦ 登録が完了すると受信機のプロザーが「ピー」と約 2 秒間鳴り、動作 LED がゆっくり 3 回点滅した後消灯します。続けて作業される場合は、最初から繰り返してください。

※ID コードの登録数が可能台数を超えた場合は、動作 LED が消灯しプロザーが「ピッピッ」と短く 2 回鳴ります。

受信機が登録モードの状態のままになっているとプロザーが「ピー」と連続して鳴り続け、検知 LED と動作 LED が交互に点滅します。いちど受信機の電源を切り、モードスイッチを任意の設定にしてから電源を入れなおしてください。

⑧ 登録作業終了後、設定スイッチを「F」に合わせ、モードスイッチを元の位置に戻してから電源を入れなおしてください。